

地域リハ支援センターの取組内容（1）

	東京慈恵会医科大学附属病院（区中央部）		荏原病院（区南部）		初台リハビリテーション病院（区西南部）	
(1) 26年度に特に力を入れた取組	【取組内容】	【成果】	【取組内容】	【成果】	【取組内容】	【成果】
	① リハビリ関連パンフレットの作成	① 筋力増強の自主訓練メニューを改訂、希望の事業所などに送付	① 講演会	① 年3回実施(参加者245人、満足度90%以上)	① 介護支援専門員・介護職対象研修会	① グループ研修により日常で直面する困難を聴取しニーズ把握
	② 地域リハを支える介護支援専門員の能力向上	② 介護支援専門員向け研修会（廃用症候群、脳卒中）	② テキスト研修会	② 地域の介護保険に関わるケアマネジャーとの交流	② 幹事会の開催	② 顔の見える関係作りが促進
(2) 当初計画に対する26年度の取組の自己評価や今後の課題（全体）	③ 地域リハ支援センター同士の連携強化	③ リーフレット活用、研修会を共催、講師派遣	③ 症例検討会	③ リハビリテーション医療機関間の情報共有及び連携が深まる	③ 区西南部リハビリテーション提供機関マップ	③ リハビリテーション資源の情報が可視化
	○訓練士への最新のリハビリテーション知識の提供や症例検討を行うとともに、希望に応じてセンターでの臨床実地経験や研修講義を受講できる体制を整備 ○介護職員に対し、出前講座や医療と介護の合同研修会を通じて知識・技術を提供 ○他職種との意見交換による連携協議会を通して方策を検討しているが、開催区域が限定 ○地域リハ支援センター同士の連携を強化できた。		（取組の自己評価） ○参加者満足度の高い講演会や研修会を通して地域リハ力を向上 ○多くの施設や関連職種の交流機会を提供し、相互連携を促進（今後の課題） ○関連職種の知識や技術向上のため、地域ニーズの情報収集 ○各施設や関連団体の情報を適切に把握し、活動推進や相互の交流推進を支援		○講演会、研修会、事例検討会、研究大会の13回開催を通して、医療・保健・福祉・介護職への地域包括ケア、地域リハビリテーション、自立支援について知識・理解を深める場を提供 ○初年度は試行錯誤の中で実施し、センター主導での活動となったが、幹事会を通じ、協力機関や行政担当者、居宅介護支援事業所連絡会などとの顔の見える関係作りが出来たため、今後は他機関と協働した企画・運営を実施する。各区によって生じる地域独自の課題を把握し、課題に即した事業の展開を考へていく。	
	○訓練士への知識の提供や症例検討の実施、希望に応じセンターでの臨床実地経験や研修講義を受講できる体制の整備 ○介護職員への出前講座や医療介護の合同研修会による知識技術提供 ○他職種との意見交換による連携協議会を通じた方策の検討 ○新人向け研修会の合同開催による地域リハの底上げ		○区南部地域のリハビリテーション力の強化		○医療・介護等のあらゆる人々に知識や理解、連携を深め、リハ活動が推進され、障害のある人々や高齢者、家族が住み慣れたところで人々と一生安全にいきいきと生活が送れるようになることを目指す。 ○地域リハ施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、課題等の意見交換と情報共有を行い、連携強化を促進する。等	
(3) 27年度の取組方針（全体目標）	【取組内容】	【目標】	【取組内容】	【目標】	【取組内容】	【目標】
	① リハビリ関連パンフレットの作成	① 嚥下関連パンフレットの改訂	① ケアマネジャーとリハビリテーション関連職種の交流会	① 連携を強化し、地域リハの問題点の抽出、解決策を検討	① 介護支援専門員・介護職対象研修会	① ケアプラン作成やケア提供時に自立支援の視点が定着する
	② 新人訓練士向け研修会の合同開催	② 地域の事業所と開催（2回開催目標）	② 支援する施設（情報提供）のリスト見直し	② ネットワークを整備し、必要な情報を施設へ提供する	② 地域リハビリテーション研究大会	② 地域の現状と課題を共有し、解決方法を関係者全体で考える
③ 地域リハ支援センター同士の連携強化	③ リーフレット活用、研修会を共催、講師派遣	③ 地域の各リハビリテーション関連職種の活動推進	③ 地域のネットワークのファシリテーターとしての役割	③ ホームページの充実	③ センター活動の情報発信、他事業とのリンク、リハ情報一元化	
	慶應義塾大学病院（区西部）		豊島病院（区西北部）		いずみ記念病院（区東北部）	
(1) 26年度に特に力を入れた取組	【取組内容】	【成果】	【取組内容】	【成果】	【取組内容】	【成果】
	① がんのリハビリテーション、災害時支援体制研修会等を開催	① 患者・医師・歯科医師・看護師・ケアマネ・理学療法士参加	① 生活期のリハ・ケア推進シンポジウム開催	① 地域でのリハビリ普及啓発と支援体制の構築を図った。	① 研修会、懇親会の実施	① 研修会4回、懇親会1回、講師派遣3回
	② 地域リハ関係者と連絡会を開催し、連携を強化	② 連絡会を7回開催し、在宅リハ支援事業を立案、議論した。	② 区西北部地域リハビリテーション協議会	② 地域リハに関わる包括的な情報共有、連携を図った。	② 関係機関への訪問と事業説明	② 足立・葛飾区の障害福祉センターから講師依頼2件受諾
(2) 当初計画に対する26年度の取組の自己評価や今後の課題（全体）	③ -	③ -	③ 出張相談、出張研修、地域リハビリテーション勉強会等	③ 地域リハ現場で必要な知識、技術の向上と連携を図った。	③ 地域リハ支援センター同士の連携強化	③ リーフレット活用、研修会共催、講師派遣
	○地域リハビリテーション支援体制の充実に向けた地域リハビリテーション提供体制の強化、訪問・通所リハビリテーションの利用促進、地域リハビリテーション関係者の連携強化の取組を計画どおり実施 ○アンケートなども実施し、実際のニーズを確認しながら研修会を組み立てた。来年度も継続して実施		○事例検討会の開催方法、頻度について検討課題としていたが、H26年度は従来どおり1回開催 ○引き続きH27年度での検討課題とし、地域毎の要望、参加者、テーマについて区西北部の行政、団体と協議		○研修会・懇親会を計画に沿って実施 ○研修対象者を幅広く設定、早めに案内し、予定人数を超えた応募があった。講師をテーマに応じて固定し、定期的な開催 ○関係機関への訪問から講師派遣につながり、顔の見える関係を構築 ○他地域の地域リハ支援センターと情報交換ならびに研修会を共催し研修会の準備や段取り、進行、ネットワーク構築などを参考 ○協議会は開催することが出来なかったため、準備会から設定	
	○地域リハビリテーション普及促進、関連機関の連携強化、専門職種の知識・技術向上、災害時リハビリテーション支援体制構築に向けての準備		○地域の医療機関、介護事業者、訪問看護施設等におけるリハビリテーションの情報交換、研修の充実、連携体制の整備を行うことにより、質の高い地域リハビリテーション事業の実現		○研修会、懇親会、講師派遣の積極的実施 ○事例検討、装具や福祉用具の活用、医療連携など、様々なテーマの研修会・懇親会・交流会 ○地域からの相談件数を増加させるため、介護保険事業所や医療機関へメールやファックスを利用した情報提供、ホームページの充実	
(3) 27年度の取組方針（全体目標）	【取組内容】	【目標】	【取組内容】	【目標】	【取組内容】	【目標】
	① 地域リハビリテーション力の向上	① 若手リハ関連職種のスキルアップ、地域リハ人材の育成	① 地域リハに関わる包括的な情報共有、連携の強化を図る。	① 地域のニーズに応える事例検討、研修会、協議会、連絡会	① 研修会・懇親会、事例検討の開催	① 年間10回程度の開催
	② 地域リハビリテーション関連機関との連携強化	② 顔が見える連携作り、ネット上で連携できるシステムを作る	② 地域リハ（特に介護リハ）の現場で必要な知識、技術の向上	② 出張相談、出張研修、ケアマネジャー研修会等の開催	② 講師派遣	② 障害福祉センターや関係団体へ年間5回以上
③ 災害時リハビリテーション支援体制の構築	③ 災害時の実行ある支援の提供に向け関係団体と連携	③ -	③ -	③ 相談件数を増加させるための情報開示	③ 年間30件以上	